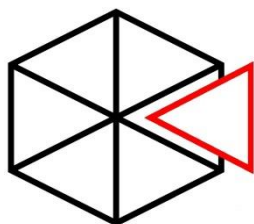


ひとづくり と 地域づくり の デザイナー “ウェルビー・デザイン”

一般社団法人 Wellbe Design

2019 年度 事業報告

Wellbe Design（ウェルビー・デザイン）は、コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（C S W）を目指す人と C S Wを育てる機関、C S Wとして実践する人と組織を支援し、地域福祉の底上げを目指す組織です。



目次 index

1. はじめに	- 3 -
お 礼	- 4 -
2. 事業報告	- 5 -
1) コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業	- 5 -
2) 地域福祉人材の育成に関する事業	- 11 -
3) 地域福祉活動の推進に関する事業	- 17 -
4) 研究活動への支援等に関する事業	- 19 -
5) 地域福祉活動等の可視化及び広報活動支援に関する事業	- 20 -
6) 各種団体に対する事務局等の支援に関する事業	- 23 -
7) その他の事業	- 25 -
8) 法人運営事業	- 32 -
3. あしあと	- 33 -
4. 収支決算	- 35 -
5. わたしたちの取り組み	- 37 -
6. 定款	- 38 -
7. 役職員紹介 Staff	- 42 -
8. 事務所在地 Office	- 47 -
9. ご支援（会員登録）のお願い Support	- 44 -

1. はじめに

Wellbe Design の発足から 8 年が経過しました。

2018 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震では、発災から 1 年以上が経った今なお、住宅の損傷や身体への影響など、生活全般に様々な影響を抱える被災者も多く、当法人ではむかわ町に提携するスタッフを常駐させるほか、8 月からは新たなスタッフを確保しながら継続した支援活動を展開しています。こうした活動を踏まえ、2019 年 10 月には長期的に支援活動を行う道内の複数の団体と共に、「北の国災害サポートチーム」を発足させ、北海道胆振東部地震の支援継続と共に、今後の災害に備えるネットワークの構築やノウハウの定着化を目指す取り組みをスタートさせました。

当法人では、災害時における被災者支援の取組は、福祉的な視点とアプローチが重要であることを踏まえ、これまでの災害時におけるソーシャルワークの展開につながる各種の活動を行っています。2019 年 6 月には厚生労働省より「社会福祉士養成課程における教育内容等の見直しについて」が示され、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が実施する研究活動の一端を担わせていただくなど、今後のソーシャルワーカー育成にも関わらせていただく機会をいただきました。

また、2019 年 11 月に開催した日本福祉教育・ボランティア学習学会第 25 回北海道大会の開催事務局として 2017 年度より開催に向けた準備を進めてきた成果が実り、北海道内外における福祉教育・ボランティア学習に関する推進とネットワーク構築ができたことはとても有意義な活動となりました。

更に、沖縄県が 2017 年度より実施する民生委員活動活性化事業においては、事業を受託するコンソーシアム（公益財団沖縄県労働者福祉基金協会・NPO 法人まちなか研究所わくわく）からの依頼を受け、同事業のアドバイザーとして関わらせていただきましたが、3 年間の集大成として「単位民児協を支える人々のためのハンドブック」を作成することができました。

この度、法人設立 8 期目となる 2019（令和元）年度（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）の当法人の全事業が完了し、本事業報告書を作成いたしました。昨年度に引き続き、多くの機関や皆様のご協力やご支援をお受けし、各種の事業が実施できたことを心よりお礼申し上げます。

当法人では引き続き地域福祉の推進を担う人や組織への支援と、地域コミュニティや地域包括ケアの推進、福祉教育・ボランティア学習に向けた展開、そして長期化することが想定される北海道胆振東部地震の支援活動を継続するため、2020 年度の事業活動並びに法人運営に務めてまいります。

多くの皆様のご協力とご尽力に心より感謝申し上げますとともに、2020 年度も更なるご指導とご厚情ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020 年 4 月吉日

一般社団法人 Wellbe Design

理 事 長 篠 原 辰 二

お 礼

2019 年度の当法人事業においては、多くの皆さまよりご支援・ご協力をいただきました。

心より感謝申し上げますとともに、紙面にてご報告をさせていただきます。

(以下、順不同)

当法人へのご協力

北海道足湯隊の活動に対するご協力

弁護士法人北海道みらい法律事務所さま／鈴木孝子さま／勇新電気計装さま／特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワークさま／社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会さま／高木由美子さま／社会福祉法人更別村社会福祉協議会さま／特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会さま・しずおか茶の国会議さま／一般社団法人おちゃのま SO-縁さま／社会福祉法人栃木市社会福祉協議会さま／特定非営利活動法人 ADRA Japan さま／みんなでワハハさま／株式会社ポーラさま／八戸貴裕さま／その他、匿名企業さま

Omoidori Project の活動に対するご協力

真備町写真洗浄@あらいぐま岡山さま／富士フィルムイメージングシステム株式会社さま／ヤマト株式会社さま

被災地・被災者支援活動への助成

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンドさま

- ・平成 30 年北海道胆振東部地震支援活動への助成

社会福祉法人中央共同募金会さま

- ・平成 30 年北海道胆振東部地震支援活動への災害ボランティア・NPO 活動サポート募金の助成

このほかにも多くのご支援やご協力をいただいておりますが、情報の非開示等のお申し出があった方もいらっしゃると思います。大変失礼とは存じますが、重ねてお礼申し上げます。

2. 事業報告

(以下、敬称略)

1) コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業

契約等に基づき、特定の地域及び組織機関等のコミュニティ形成支援や研究、開発、支援活動を行っています。

① 当法人主催事業

-01. ファシリテーション・グラフィック講座

実施日 2019年11月28日

場 所 京極町

内 容 京極町内の保健福祉関係職員等を対象とし、ファシリテーション・グラフィック講座を開催（参加者18名）

② 委嘱等に基づく事業

-01. 札幌市地域福祉社会計画審議会

依頼者 札幌市保健福祉局

期 間 2019年04月01日～2022年03月31日

場 所 札幌市中央区

内 容 札幌市が2018年に策定した「札幌市地域福祉社会計画」に係る評価・分析や策定を担う審議会の委員（副会長）に、当法人篠原理事長が委嘱を受け参加

・2019年05月29日 第1回審議会

※詳細は右のQRコードからご覧ください



-02. 介護予防活動普及展開事業

依頼者 北海道保健福祉部高齢者支援局

期 間 2019年04月09日～2020年03月31日

場 所 札幌市中央区・小樽市・苫小牧市・京極町

内 容 厚生労働省老健局老人保健課が所管する「介護予防活動普及展開事業」について北海道庁からアドバイザーの委嘱を受け、道内各市町村への支援を実施

・2019年10月19日～20日 アドバイザー養成研修

・2019年10月24日 苫小牧市へのアドバイザー業務

・2019年10月29日 小樽市へのアドバイザー業務

・2019年10月30日 京極町へのアドバイザー業務

③ 委託契約等に基づく事業

-01. 地域包括支援事業アドバイザー業務

依頼者 赤井川村介護保険課

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 赤井川村

内 容 赤井川村が実施する、包括的支援事業（①地域ケア会議推進事業、②在宅医療・介護連携推進事業、③認知症施策推進事業、④生活支援体制整備事業）に関するアドバイザー業務を展開

・ 2019 年 04 月 08 日	・ 2019 年 04 月 22 日	・ 2019 年 05 月 13 日
・ 2019 年 05 月 27 日	・ 2019 年 06 月 12 日	・ 2019 年 06 月 26 日
・ 2019 年 07 月 03 日	・ 2019 年 07 月 24 日	・ 2019 年 08 月 13 日
・ 2019 年 08 月 26 日	・ 2019 年 09 月 10 日	・ 2019 年 09 月 24 日
・ 2019 年 10 月 07 日	・ 2019 年 10 月 21 日	・ 2019 年 11 月 05 日
・ 2019 年 11 月 26 日	・ 2019 年 12 月 10 日	・ 2019 年 12 月 25 日
・ 2020 年 01 月 14 日	・ 2020 年 01 月 28 日	・ 2020 年 02 月 10 日
・ 2020 年 02 月 26 日	・ 2020 年 03 月 19 日	・ 2020 年 03 月 23 日

※2019 年 04 月 16 日生活支援体制整備事業広報いそどり授賞式（於札幌市立大学）

-02. 生活支援体制整備事業アドバイザー業務

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 歌志内市

内 容 市地域包括支援センターが実施する、生活支援体制整備事業に関するアドバイザー業務と生活支援コーディネーターに対するスーパービジョンを展開

・ 2019 年 04 月 17 日	・ 2019 年 05 月 14 日	・ 2019 年 06 月 17 日
・ 2019 年 07 月 16 日	・ 2019 年 08 月 05 日	・ 2019 年 09 月 17 日
・ 2019 年 10 月 15 日	・ 2019 年 11 月 11 日	・ 2019 年 11 月 18 日
・ 2019 年 12 月 23 日	・ 2020 年 01 月 20 日	・ 2020 年 03 月 24 日

-03. 地域ケア会議運営アドバイザー業務

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 歌志内市

内 容 市地域包括支援センターが実施する、地域ケア会議推進事業に関するアドバイザー業務を展開

・ 2019 年 07 月 16 日	・ 2019 年 08 月 05 日	・ 2019 年 09 月 17 日
・ 2020 年 01 月 20 日	・ 2020 年 02 月 17 日	・ 2020 年 03 月 24 日

-04. 包括的支援事業における各種アドバイザー業務

依頼者 上砂川町地域包括支援センター

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 上砂川町

内 容 町地域包括支援センターが実施する、①在宅医療・介護連携推進事業、②生活支援体制整備事業、③認知症地域支援ケア向上推進事業、④認知症初期集中支援事業、⑤地域ケア会議推進事業に関するアドバイザー業務を展開

・ 2019 年 05 月 28 日 ・ 2019 年 07 月 29 日 ・ 2019 年 09 月 17 日
・ 2019 年 10 月 08 日 ・ 2019 年 10 月 23 日 ・ 2019 年 11 月 12 日
・ 2019 年 12 月 17 日 ・ 2020 年 02 月 17 日

-05. 生活支援体制整備事業に係るアドバイザー業務

依頼者 社会福祉法人京極町社会福祉協議会

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 京極町

内 容 地域支援事業における多様な生活支援・介護予防サービスの充実と京極町における支え合いの体制づくりに向け、協議体の運営や生活支援コーディネーターに対するアドバイザー業務を展開

・ 2019 年 04 月 10 日 ・ 2019 年 05 月 08 日 ・ 2019 年 06 月 19 日
・ 2019 年 07 月 10 日 ・ 2019 年 08 月 07 日 ・ 2019 年 09 月 11 日
・ 2019 年 10 月 09 日 ・ 2019 年 11 月 13 日 ・ 2019 年 12 月 11 日
・ 2020 年 01 月 08 日 ・ 2020 年 02 月 12 日 ・ 2020 年 03 月 11 日

※2019 年 05 月 15 日 NPO 法人きょうこ総会

-06.第 4 期名寄市地域福祉実践計画推進事業に係るアドバイザー業務

依頼者 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 名寄市

内 容 2017 年 04 月に策定した「第 4 期名寄市地域福祉実践計画」を効果的に履行するための、業務推進に関するアドバイザー業務

・ 2019 年 07 月 01 日 ・ 2019 年 10 月 28 日 ・ 2020 年 02 月 14 日
・ 2020 年 02 月 21 日

-07. 地域ケア会議運営アドバイザー業務

依頼者 仁木町ほけん課（地域包括支援センター）

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 仁木町

内 容 町地域包括支援センターが実施する、①地域ケア会議推進事業、②生活支援体制整備事業に関するアドバイザー業務を展開

- ・ 2019 年 04 月 16 日 ・ 2019 年 04 月 24 日 ・ 2019 年 05 月 20 日
- ・ 2019 年 08 月 20 日 ・ 2019 年 08 月 26 日 ・ 2019 年 09 月 30 日
- ・ 2019 年 12 月 02 日 ・ 2019 年 12 月 24 日 ・ 2020 年 01 月 20 日
- ・ 2020 年 02 月 18 日 ・ 2020 年 03 月 04 日 ・ 2020 年 03 月 18 日

-08. 災害支援ネットワーク推進セミナー業務

依頼者 公益社団法人日本青年会議所（北海道地区協議会）
 期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日
 場 所 札幌市白石区・北見市
 内 容 防災ネットワーク構築に向けた推進計画に基づき、青年会議所と社会福祉協議会の防災協定の締結を目指した北海道内 46LOM を対象にした防災セミナーを開催

- ・ 2019 年 04 月 03 日 打ち合わせ
- ・ 2019 年 05 月 26 日 札幌会場
- ・ 2019 年 06 月 15 日 北見会場

-09. 地域ケア会議運営アドバイザー事業

依頼者 真狩村住民課
 期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日
 場 所 真狩村
 内 容 真狩村における地域ケア会議の定着や持続的な会議運営体制の構築を図るためのアドバイザー業務を展開

- ・ 2019 年 04 月 15 日 ・ 2019 年 05 月 15 日 ・ 2019 年 06 月 24 日
- ・ 2019 年 07 月 31 日 ・ 2019 年 08 月 06 日 ・ 2019 年 09 月 18 日
- ・ 2019 年 10 月 16 日 ・ 2019 年 11 月 25 日 ・ 2019 年 12 月 24 日
- ・ 2020 年 01 月 27 日 ・ 2020 年 02 月 25 日 ・ 2020 年 03 月 18 日

-10. 生活支援体制整備事業アドバイザー事業

依頼者 真狩村社会福祉協議会
 期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日
 場 所 真狩村
 内 容 地域支援事業における多様な生活支援・介護予防サービスの充実と真狩村における支え合いの体制づくりに向け、協議体の運営や生活支援コーディネーターに対するアドバイザー業務を展開

- ・ 2019 年 04 月 15 日 ・ 2019 年 05 月 15 日 ・ 2019 年 06 月 24 日
- ・ 2019 年 07 月 31 日 ・ 2019 年 08 月 06 日 ・ 2019 年 09 月 18 日
- ・ 2019 年 10 月 16 日 ・ 2019 年 11 月 25 日 ・ 2019 年 12 月 24 日
- ・ 2020 年 01 月 27 日 ・ 2020 年 02 月 25 日 ・ 2020 年 03 月 18 日

-11. 沖縄県民生委員活動活性化事業アドバイザー業務

依頼者 沖縄県民生委員活動活性化事業受託コンソーシアム事務局

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 沖縄県（那覇市・浦添市・宜野湾市・豊見城市・南風原町・北中城村・国頭村）

内 容 沖縄県からの受託に基づき、沖縄県労働者福祉基金協会、まちなか研究所わくわくによるコンソーシアムからの依頼を受け、同事業のアドバイザーとして活動

- ・ 2019 年 06 月 02 日～08 日 ・ 2019 年 08 月 18 日～24 日
 - ・ 2020 年 01 月 29 日～31 日 ・ 2020 年 02 月 02 日～08 日
 - ・ 2020 年 03 月 02 日～06 日※新型コロナウイルスの影響により Web 対応
- ※成果物は、以下の QR コードからご覧いただけます



-12. 手稲区地域における災害に備えた支えあい事業

依頼者 札幌市手稲区保健福祉課

期 間 2019 年 06 月 11 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 札幌市手稲区

内 容 2015 年 12 月から札幌市が実施している災害時要配慮者名簿情報の提供を推進し、災害時における支援体制を日常的に構築することを目的に手稲区が実施している事業において、各種研修会の企画マネジメント及び研修当日の講師対応を展開

- 1) 災害時支え合いフォローアップ研修会
 - ・ 2019 年 10 月 07 日 星置地区
 - ・ 2019 年 11 月 28 日 稲穂金山地区
- 2) 手稲区災害時支え合い研修会
 - ・ 2020 年 01 月 21 日 手稲区災害時支え合い研修会

-13. 新発寒小学校避難所開設体験会

依頼者 新発寒まちづくり委員会

期 間 2019 年 08 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 札幌市手稲区

内 容 新発寒まちづくり委員会では、札幌市手稲区新発寒地区の基幹避難所について、独自の避難所運営マニュアルが作成されている。2018 年度に作成された新発寒小学校避難所運営マニュアルについて、避難所開設体験会を開催し、マニュアルの見直しを行う本事業において、体験会の企画・運営・コンサルティング及び付随する関係会議のアドバイザー業務を担当

- ・ 2019 年 08 月 16 日 事前打ち合わせ会議
- ・ 2019 年 09 月 09 日 第 1 回検討会議
- ・ 2019 年 11 月 19 日 第 2 回検討会議
- ・ 2019 年 11 月 29 日 事前打ち合わせ会議
- ・ 2020 年 01 月 07 日 避難所開設体験会
- ・ 2020 年 02 月 20 日 第 3 回検討会議（振り返り会議）

④ その他の事業

-01. 地域住民向け防災教育教材の開発支援

依頼者 社会福祉法人登別市社会福祉協議会

場 所 登別市

内 容 同法人の地域福祉担当職員を対象に、防災教材 B72 を用いた教材の開発支援を行った。開発した教材は同法人職員を対象に実施検証を行い、教材を地域住民を対象に展開できるよう開発支援と進行方法のアドバイスを実施

・2019年06月24日 第1回：教材開発に関する打ち合わせ

・2019年10月26日～28日 第2回：教材開発と職員を対象にした実施検証と振り返り

-02. 知多市地域担い手育成事業 ～ファシリテーション研修～

依頼者 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

場 所 愛知県知多市

内 容 知多市市民生活部市民協働課から事業を受託する同法人からの依頼に基づき、次年度にコミュニティ役員を担う候補者、学生、市民活動団体を対象に、地域づくりを推進するリーダーに必要なファシリテーション力を身に着けることを目的に実施された研修会において研修の企画運営及び当日の講師を担当

・2020年01月18日 第1回：人間関係を築くためのコミュニケーションの支え方

・2020年02月01日 第2回：地域住民の参加と参画を生み出すための“見える化”

・2020年03月01日 第3回：新型コロナウイルスの影響により中止

-03. 被災者見守り・相談支援事業に係る市町村支援業務

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会（岡山県くらし復興サポートセンター）

場 所 岡山県岡山市

内 容 岡山県くらし復興サポートセンターが実施する、被災者見守り・相談支援事業実施センター、被災者生活支援従事者研修に関するアドバイザリー業務を展開

・2020年01月24日 ・2020年03月03日～07日 ・2020年03月27日～28日

2) 地域福祉人材の育成に関する事業

地域福祉を展開するソーシャルワーカーをはじめとする福祉専門職及び地域の多様な支援者育成を目指した研修会のマネジメントや講師対応を行っています。

① 当法人主催事業

-01. ふくし・デザイナー養成講座

期 間 2019年06月02日～2020年03月15日（全8回）

場 所 札幌市厚別区

内 容 当法人が開催するコミュニティワーカー育成を目指した会員を対象とした学習会を開催

- ・2019年06月02日 第1回：プログラムデザイン 参加者 10名
- ・2019年07月21日 第2回：ファシリテーション 参加者 07名
- ・2019年08月25日 第3回：コーディネーション 参加者 11名
- ・2019年09月29日 第4回：地域アセスメント 参加者 10名
- ・2019年11月17日 第5回：会議のテーマ設定 参加者 04名
- ・2019年12月15日 第6回：災害時の福祉支援 参加者 07名
- ・2020年02月16日 第7回：地域アセスメント 参加者 04名
- ・2020年03月15日 第8回：地域活動の可視化※新型コロナウイルスの影響により中止

（参加者合計 53名）

② 委嘱等に基づく事業

-01. 札幌市立大学「ボランティア活動を考える」

依頼者 札幌市立大学

場 所 札幌市南区

内 容 札幌市立大学デザイン学部及び看護学部の共通教育科目として開講される「ボランティア活動を考える」において、非常勤講師として協力

- ・2019年04月09日 ボランティアとは何か
- ・2019年04月16日 ボランティアの価値
- ・2019年04月23日 ボランティアと心理
- ・2019年05月07日 ボランティアのあゆみ
- ・2019年05月14日 災害とボランティア
- ・2019年06月11日 生活とボランティア
- ・2019年06月18日 国際社会とボランティア
- ・2019年06月25日 大学生とボランティア
- ・2019年07月02日 まちづくりとボランティア
- ・2019年07月09日 ボランティアの組織化
- ・2019年07月16日 ボランティア活動の支え手

- ・ 2019 年 07 月 23 日 ボランティアコーディネート①
- ・ 2019 年 07 月 30 日 ボランティアコーディネート②
- ・ 2019 年 08 月 03 日 今が旬なボランティア / まとめ

-02. 北海道医療大学看護福祉学部「ソーシャルワーク論Ⅲ」

依頼者 北海道医療大学看護福祉学部

場 所 当別町

内 容 北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科 3 年生を対象とした「ソーシャルワーク論Ⅲ」において、講義・演習を実施

- ・ 2019 年 10 月 31 日 コーディネーションとネットワーキング①・②
- ・ 2019 年 11 月 07 日 社会資源の活用・調整・開発①・②
- ・ 2019 年 11 月 14 日 ソーシャルアクションによるシステム作り
- ・ 2019 年 11 月 14 日 相談援助のための交渉の技術
- ・ 2019 年 12 月 05 日 災害ソーシャルワーク①・②
- ・ 2019 年 12 月 12 日 災害ソーシャルワーク③～⑤
- ・ 2020 年 01 月 09 日 災害ソーシャルワーク⑥
- ・ 2020 年 01 月 09 日 予防的対応の意義とサービス開発
- ・ 2020 年 01 月 16 日 スーパービジョンとコンサルテーション技術
- ・ 2020 年 01 月 16 日 相談援助における ICT の活用と実際

③ 委託契約等に基づく事業

-01. 地域福祉活動を担う人材の発掘と育成に関する事業

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 歌志内市

内 容 歌志内市地域福祉計画に定める「地域活動の人づくり、活動づくり」に係る施策を具現化するために開催する「福祉コミュニケーション講座」において、企画マネジメントと講座当日の講師対応を実施

- ・ 2019 年 07 月 23 日 おやこ編 ・ 2019 年 10 月 15 日 市民編
- ・ 2020 年 02 月 17 日 福祉編

-02. 日本福祉大学通信教育学部「地域福祉と災害ソーシャルワーク」

依頼者 日本福祉大学通信教育学部

場 所 東京都渋谷区・福岡県福岡市

内 容 日本福祉大学通信教育学部が開講する「地域福祉と災害ソーシャルワーク」において、災害ソーシャルワークの方法と展開に関する講義・演習を実施

- ・ 2019 年 06 月 29 日～06 月 30 日（福岡会場）
- ・ 2019 年 08 月 31 日～09 月 01 日（東京会場）

-03. 日本福祉大学通信教育学部オンデマンド科目「地域福祉論」

依頼者 日本福祉大学通信教育学部

実施日 2020 年 01 月 10 日

場 所 愛知県名古屋市中区

内 容 日本福祉大学通信教育学部が開講するオンデマンド科目「地域福祉論」において外部講師を担当

④ 協働事業

-01. 大阪府災害時福祉支援チーム研修

場 所 大阪府大阪市中央区

内 容 当法人篠原理事長がディレクターを務める福祉防災サポートオフィス未来（栗原 英文 代表）が大阪府社会福祉協議会の委託を受けて実施する災害時福祉支援チーム（DCAT）のチーム員養成を目的とした各種研修事業において講師として協力

・ 2019 年 10 月 10 日 ・ 2019 年 11 月 08 日 ・ 2019 年 12 月 03 日

-02. 後志地区災害ボランティア組織連絡会議

実施日 2019 年 11 月 28 日

内 容 当法人篠原理事長が代表を務める北海道北の国災害サポートチームが、北海道社会福祉協議会からの依頼を受け、上記の会議において「災害時における NPO 等民間団体の役割」について報告

-03. 滋賀県災害時福祉支援チーム研修

場 所 滋賀県大津市・米原市

内 容 当法人篠原理事長がディレクターを務める福祉防災サポートオフィス未来（栗原 英文 代表）が滋賀県社会福祉協議会の委託を受けて実施する災害時福祉支援チーム（DCAT）のチーム員養成を目的とした各種研修事業において講師として協力

・ 2020 年 02 月 28 日（南会場） ・ 2020 年 02 月 29 日（北会場）

※両日ともに新型コロナウイルスの影響により中止

-04. 一般社団法人日本色彩療法士協会各種研修

場 所 札幌市白石区

内 容 当法人篠原理事長が上級認定講師を務める日本色彩療法士協会（外崎 由香 代表）が主催する以下の研修に講師として協力

・ 2019 年 03 月 29 日 上級研修

⑤ その他の事業

-01.名寄市社会福祉協議会役員等研修会

依頼者 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会

実施日 2019 年 04 月 18 日

場 所 名寄市

内 容 第 4 期地域福祉実践計画推進事業のアドバイザーを務めた同市にて、社会福祉協議会の役員等を対象に「第 4 期地域福祉実践計画『つながり』の評価について」をテーマにした研修を担当

-02. 沖縄県労福協第 1 回リーダー研修及び民生活動活性化事業従事者研修

依頼者 公益財団法人沖縄県労働福祉基金協会

実施日 2019 年 04 月 26 日～27 日

場 所 沖縄県那覇市

内 容 同法人の正規職員を対象に、職員相互のリーダーシップをテーマにした組織づくり研修を担当

-03. 鳥取県介護支援専門員連絡協議会研修会

依頼者 鳥取県介護支援専門員連絡協議会

実施日 2019 年 05 月 19 日

場 所 鳥取県琴浦町

内 容 県内の介護支援専門員を対象に「災害に備えるために必要な知識と日常業務で取り組むべきこと」と題した講演を担当

-04. 第 25 回北海道自治体学会政策シンポジウム

依頼者 北海道自治体学会

実施日 2019 年 05 月 25 日

場 所 札幌市北区

内 容 自治体職員や関係公職者を対象にしたシンポジウムにて、「被災者支援の課題」と題した基調講演を担当

-05. 第 31 回中堅民生委員児童委員教室

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2019 年 07 月 04 日（第 1 日程）、2019 年 07 月 11 日（第 2 日程）

場 所 札幌市中央区

内 容 全道における民児協活動、民生委員児童委員活動の中核的な役割を担っていく中堅の民生委員児童委員に対し、地域福祉・在宅福祉推進に取り組むために必要な知識、技術の習得を目的とした本教室において、「組織のリーダーとは～チームワークとリーダーシップ～」をテーマとした講義における講師を担当

-06. 小樽市社会福祉協議会職員研修

依頼者 社会福祉法人小樽市社会福祉協議会 小樽市ボランティア・市民活動センター

実施日 2019年07月11日

場 所 小樽市

内 容 同市社会福祉協議会、市役所、青年会議所の職員を対象に、災害発生時の社協の役割、災害ボランティアセンターの機能についての研修を実施

-07. 日本学校ソーシャルワーク学会第14回全国大会 in 福島大会

依頼者 日本学校ソーシャルワーク学会

実施日 2019年07月13日

場 所 福島県福島市（福島大学）

内 容 日本学校ソーシャルワーク学会全国大会の事前研修において、「SSWに知って欲しい被災者支援の展開」と題した講義を担当

-08. 第20回民生委員児童委員活動推進講座

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

場 所 札幌市中央区・旭川市・函館市・北見市・釧路市

内 容 全道の民生委員児童委員、主任児童委員、民児協事務局等に対し、「災害に備える民生委員児童委員活動と地域福祉の推進」と題した講義における講師、及び参加者からの質疑におけるアドバイスを担当

- ・2019年07月19日 事業打ち合わせ
- ・2019年08月29日（札幌会場）
- ・2019年08月30日（旭川会場）
- ・2019年09月02日（函館会場）
- ・2019年09月04日（北見会場）
- ・2019年09月06日（釧路会場）

-09. 災害ボランティアセンター運営者研修（企画委員）

依頼者 社会福祉法人全国社会福祉協議会

場 所 東京都千代田区・江東区

内 容 社会福祉協議会の職員や災害時における支援活動を実施するNPO・NGO等、災害ボランティアセンター運営を担う人材を育成する研修の企画委員及び当日の講師を担当

- ・2019年08月01日 第1回企画会議
- ・2019年08月27日 第2回企画会議
- ・2019年10月01日～03日 災害ボランティアセンター運営者研修

-10. 災害時要配慮者支援対策研修会

依頼者 北海道根室振興局保健環境部

実施日 2019年10月18日

場 所 中標津町

内 容 災害時要配慮者支援対策に携わる保健・福祉・障害・防災部署職員等を対象に、「災害時の人的被害とその後の災害関連死を防ぐ要配慮者支援対策」と題した講義及び演習を実施

-11. 上川管内社会福祉協議会連絡協議会 研修会 I（若手・中堅編）

依頼者 上川管内社協職員連絡協議会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会上川地区事務所

実施日 2019 年 10 月 28 日

場 所 名寄市

内 容 上川管内市町村社会福祉協議会及び道社協上川地区事務所職員を対象とした研修会において、「災害時における社協の役割を理解し組織的な災害対応力を高めるために」をテーマにした講義を実施

-12. 地域ケア実務者研修会

依頼者 むかわ町地域振興課

実施日 2019 年 11 月 15 日

場 所 むかわ町

内 容 町内の介護サービス事業者職員や保健・医療・福祉関係者を対象にした研修にて、「胆振東部地震のふりかえりとこれから」と題したテーマで講師を担当

-13. 地域づくりのためのファシリテーション講座

依頼者 日本福祉大学知多地域同窓会

実施日 2020 年 01 月 19 日

場 所 愛知県東海市

内 容 日本福祉大学同窓生及び同大学学部生を対象とした、福祉現場で求められるファシリテーションのスキルやファシリテーターの役割と機能についての講座を実施

-14. 生活支援活動実践セミナー

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会

実施日 2020 年 01 月 24 日

場 所 岡山県岡山市

内 容 地域住民や市町村社会福祉協議会職員、行政職員等を対象にしたセミナーにおいて、「わたしたちが安心して暮らせる地域づくりに向けて」と題した基調講演及びその後の実践発表、グループトークでのコーディネーターを担当

-15. 防災セミナー（北海道開発局職員研修）

依頼者 国土交通省北海道開発局、一般社団法人北海道開発技術センター

実施日 2020 年 03 月 09 日

場 所 札幌市北区

内 容 北海道開発局の職員向けの防災知識及び災害時の危機管理対応能力の向上を目的とした防災セミナーにおいて、「胆振 3 町の被災者支援を円滑にするための体制を整備するための活動から」という内容の講義を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止

3) 地域福祉活動の推進に関する事業

広く地社会福祉活動の実践や捉え方を普及し、社会に対する地域福祉啓発や地域福祉活動の推進に係る諸活動を行っています。

-01. 課題解決につなげる「地域アセスメント」勉強会

依頼者 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく

実施日 2019年06月08日

場 所 沖縄県那覇市

内 容 同法人の会員・役員等を対象にした勉強会において、地域アセスメントの視点と手法をテーマにしたディスカッションを担当

-02. 北海道地域福祉学会第1回定例研究会

依頼者 北海道地域福祉学会

実施日 2019年06月21日

場 所 札幌市厚別区

内 容 同学会の定例研究会において、「広島・熊本・鳥取・岡山・北海道の実践からみた被災者に対するコミュニティソーシャルワークの展開」をテーマにした講演（課題提起）を担当

-03. ボランティア養成研修

依頼者 社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会

実施日 2019年07月09日

場 所 むかわ町穂別

内 容 町民を対象としたボランティア養成研修において、「胆振東部地震からの復興を目指して」と題した講演を担当

-04. 災害ボランティア講座（入門編・応用編）

依頼者 社会福祉法人小樽市社会福祉協議会 小樽市ボランティア・市民活動センター

場 所 小樽市

内 容 災害ボランティアに興味・関心のある市民を対象に、災害ボランティアの内容や災害ボランティアセンターの機能を学ぶ講演及び演習を担当
・2019年09月14日 入門編 ・2019年11月02日 応用編

-05. 市民ボランティア講座「市民ボッチャ交流大会」 【協賛】

協賛先 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会（坂田 仁 会長）

場 所 名寄市

内 容 同法人が開催する第3回市民ボランティア講座「市民ボッチャ交流大会」に際し、第1位から第3位までのチームに対するメダルを協賛
・2019年09月28日開催

-06. 震災ボランティア企画講演会

依頼者 札幌大学

実施日 2019 年 10 月 04 日

場 所 札幌市豊平区

内 容 同大学の学生及び教員を対象に、北海道胆振東部地震におけるボランティア活動について講演するとともに、被災した写真のサルベージ活動を体験してもらい、支援活動への動機づけを行う

-07. 厚別西厚信会地区防災計画策定に向けた防災講演会

依頼者 札幌市危機管理対策室

実施日 2019 年 10 月 26 日

場 所 札幌市厚別区

内 容 厚別西厚信会の住民等を対象に、「地域における“後者の防災”を考える」と題した講演を実施

-08. 名寄市町内会ネットワーク研修会

依頼者 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会

実施日 2019 年 11 月 06 日

場 所 名寄市

内 容 名寄市民を対象とした研修会でのシンポジウム「未来へつながる担い手づくり～いつまでも暮らしやすい地域づくり～」にてコーディネーターを担当

-09. みはま地域大学 みんなの減災カレッジ 2019

依頼者 美浜町役場防災課

実施日 2019 年 12 月 14 日

場 所 愛知県美浜町

内 容 美浜町内在住・在勤の方や民生委員等を対象にした講座において、「地域防災と地域づくり」をテーマにした講義及びグループワークを実施

4) 研究活動への支援等に関する事業

地域福祉実践や人材育成等に係わる様々な調査研究を行うとともに、ご依頼に基づき調査の集計及び分析業務や研究活動の支援を行っています。

① 音声データの文字起こし

- ・ 2019 年 04 月 15 日 270 分 00 秒 N 大学
- ・ 2019 年 07 月 05 日 112 分 00 秒 N 大学
- ・ 2019 年 07 月 30 日 72 分 00 秒 F 大学
- ・ 2019 年 11 月 12 日 62 分 00 秒 N 大学
- ・ 2019 年 12 月 20 日 320 分 26 秒 N 大学
- ・ 2020 年 01 月 14 日 464 分 00 秒 B 大学
- ・ 2020 年 02 月 03 日 50 分 00 秒 N 大学
- ・ 2020 年 02 月 08 日 239 分 00 秒 B 大学

② 研究活動への参画

-01. 社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の見直しを踏まえた教育内容及び教育体制等に関する調査研究事業

依頼者 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

場 所 東京都港区

内 容 同連盟が「令和元年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金社会福祉推進事業（厚生労働省）」の採択を受け実施する研究事業において、「災害教材チーム」及び「実習・演習講習会等検討チーム」へ参画

- ・ 2019 年 09 月 16 日 第 1 回 4 チーム合同会議
- ・ 2019 年 12 月 26 日 第 1 回災害教材チーム会議
- ・ 2020 年 01 月 11 日 第 1 回実習・演習講習会等検討チーム会議
- ・ 2020 年 02 月 09 日 第 2 回災害教材チーム会議
- ・ 2020 年 03 月 16 日 第 2 回 4 チーム合同会議
- ・ 2020 年 03 月 16 日 第 2 回実習・演習講習会等検討チーム会議

※2019 年 11 月 09 日 日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック社会福祉教育セミナーへの参加

※成果物は、右の QR コードからご覧いただけます



5) 地域福祉活動等の可視化及び広報活動支援に関する事業

関係する各地域の地域実践をまとめ、広く社会に発信するためのツール開発を行っています。

① 執筆

-01. 「社協舞台の演出者たち」への執筆

出版社 株式会社大学教育出版

発売日 2019年10月20日

内 容 当法人副理事長岡部和夫を含む4名の著者による、都道府県社協の奮闘とそれを受けた市町村社協による日々の尽力と社協にあって苦闘してきた社協人の幾人からその足跡を辿り紹介した書籍を発刊

※書籍は、右のQRコードからご購入いただけます



-02. 「アンテナ道民児連」へのコラム執筆

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

内 容 北海道民生委員児童委員連盟が発行する広報紙に「災害に備える」というテーマでコラムを掲載

- ・No.205 「被災者支援の視点」
- ・No.206 「民生委員である前に」
- ・No.207 「過去から学ぶ」
- ・No.208 「災害時にこそ協議会機能の発揮を」



-03. 「災害派遣福祉チーム員養成テキスト」の執筆

依頼者 福祉防災サポートオフィス未来

内 容 福祉防災サポートオフィス未来が、大阪府、滋賀県、沖縄県から受託する災害派遣福祉チーム員養成に関する研修において使用する共通テキスト（全60頁）を執筆

-04. 社会福祉士・精神保健福祉士養成に係るテキストの執筆

依頼者 中央法規出版株式会社

内 容 2021年4月より始まる社会福祉士・精神保健福祉士の新たな養成カリキュラムに対応したテキスト「地域福祉と包括的支援体制」巻において、『災害時における総合的かつ包括的な支援体制』の執筆を担当

② 広報ツールの作成

-01. 地域福祉計画の改定・策定に向けたガイドブック作成業務

依頼者 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく

実施日 2020年01月01日～2020年3月31日

内 容 同法人が沖縄県からの委託を受け実施する「沖縄県内市町村における地域福祉計画策定支援業務」において作成する自治体向けのガイドブック（全16頁）の作成・デザインを担当

※成果物は、右のQRコードからご覧いただけます



④ Web サイトの運営管理等

-01. 一般社団法人 Wellbe Design 広報事業 【自主事業】

1) ホームページ <http://www.wellbedesign.net>

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 2012年度より継続して実施

2) facebook 一般社団法人 Wellbe Design

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 2012年度より継続して実施

3) Instagram wellbedesign

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 2017年度より継続して実施

-02. Nyarube Design Facebook ページ運営管理 【自主事業】

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 ゴンタ課長とチビタ係長による facebook ページを昨年度より継続して実施

-03. 北海道地域福祉学会ホームページ運営管理 【受託事業】

依頼者 北海道地域福祉学会

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 同学会の公式ウェブサイト運営管理を2012年度より継続して実施

-04. 特定非営利活動法人いわてGINGA-NETホームページ運営管理 【受託事業】

依頼者 特定非営利活動法人いわて GINGA-NET

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 同法人の公式ウェブサイト運営管理を2012年度より継続して実施

-05. 北海道社会福祉学会ホームページ運営管理 【受託事業】

依頼者 日本地域福祉学会北海道地域ブロック

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 同学会の公式ウェブサイト運営管理を2012年度より継続して実施

-06. 社会福祉法人登別市社会福祉協議会ホームページ制作および運営管理 【受託業務】

依頼者 登別市社会福祉協議会

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

内 容 同法人の公式ウェブサイト運営管理を 2016 年度より継続して実施

-07. 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows ホームページ運営管理

依頼者 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

内 容 同法人の公式ウェブサイト運営管理を 2010 年度より継続して実施

6) 各種団体に対する事務局等の支援に関する事業

学会や企業の社会貢献活動を行う任意団体の事務局支援を通し、幅の広い地域福祉の推進を担っています。

-01. 北海道地域福祉学会事務局業務 【受託事業】

依頼者 北海道地域福祉学会（梶 晴美 会長）

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 札幌市厚別区

内 容 2012 年 06 月 01 日より、学会組織運営管理、各種事業の進捗管理、調査・企画・広報活動等を実施

- ・ 2019 年 04 月 17 日 第 1 回理事会
- ・ 2019 年 05 月 20 日 学会ニュースNo.54 発行
- ・ 2019 年 06 月 14 日 監事会
- ・ 2019 年 06 月 21 日 定期総会・第 1 回定例研究会
- ・ 2019 年 09 月 01 日 学会ニュースNo.55 発行
- ・ 2019 年 10 月 04 日 第 2 回理事会
- ・ 2019 年 10 月 05 日 全道研究大会
- ・ 2020 年 02 月 15 日 第 3 回理事会・第 2 回定例研究会

※詳細は、右の QR コードからご確認ください



-02. 日本社会福祉学会北海道地域ブロック事務業務 【受託事業】

依頼者 日本社会福祉学会北海道地域ブロック（中村 和彦 会長）

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

内 容 2013 年 04 月 01 日より、学会HP管理業務、北海道社会福祉学会ニュースの発送業務等を実施

※詳細は、右の QR コードからご確認ください



-03. 子どもアイディアコンテストの企画協力に関する業務 【受託事業】

内 容 本田技研工業株式会社の社会貢献活動として実施されている「子どもアイディアコンテスト」に関する企画協力について、2018 年度より村川 雅弘氏（甲南女子大学教授）等のプロジェクトチームと協働した事業運営を実施

- ・ 2019 年 07 月 22 日 子どもアイディアセミナー打ち合わせ（真狩村）
- ・ 2019 年 07 月 28 日 子どもアイディアセミナー実施（京極町・真狩村）
- ・ 2020 年 01 月 11 日 第 17 回子どもアイディアコンテスト最終審査会（東京都港区）
- ・ 2020 年 01 月 12 日～13 日 プロジェクト会議（東京都港区）

※詳細は、右の QR コードからご確認ください



-04. Web 博物館（コラボミュージアム City）の企画協力に関する業務 【受託事業】

内 容 株式会社ジェイアール四国コミュニケーションウェアの社会貢献活動として実施されている「Web 博物館コラボミュージアム City」と「コラボミュージアム City 作品づくりコンテスト」に関する企画協力について、2018 年度より村川雅弘氏（甲南女子大学教授）等のプロジェクトチームと協働した事業運営を実施

※詳細は、右の QR コードからご確認ください



-05. 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows 事務局支援業務

依頼者 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows（北原 三津代 理事長）

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 札幌市厚別区、千歳市

内 容 2012 年 06 月 01 日より、同法人の事務局業務及び千歳市市民評価会議のアドバイザー対応を実施
会議等

・ 2019 年 05 月 24 日 ・ 2019 年 06 月 01 日 ・ 2020 年 03 月 14 日
千歳市市民評価会議

・ 2019 年 07 月 05 日 ・ 2019 年 07 月 08 日 ・ 2019 年 07 月 12 日
・ 2019 年 07 月 17 日 ・ 2019 年 07 月 22 日 ・ 2019 年 07 月 25 日
・ 2019 年 08 月 05 日 ・ 2020 年 02 月 19 日

-06. 日本福祉教育・ボランティア学習学会第 25 回北海道大会事務局業務

場 所 札幌市厚別区

内 容 福祉教育・ボランティア学習学会全国大会を北海道で開催するにあたり、2017 年度より北海道の福祉教育・ボランティア学習を学びあう会（坂本 大輔 代表）を組織し、北海道内における実践者のネットワーク構築と大会実行委員会の事務局を担った

・ 2019 年 06 月 01 日 第 2 回実行委員会、プレ大会
・ 2019 年 09 月 28 日 事務局会議
・ 2019 年 10 月 12 日 第 3 回実行委員会
・ 2019 年 11 月 23 日～24 日 日本福祉教育・ボランティア学習学会第 25 回北海道大会
・ 2020 年 03 月 14 日 第 4 回実行委員会

※詳細は、右の QR コードからご確認ください



7) その他の事業

災害被災者・被災地への支援活動や各種研修会への参加、各種団体とのネットワークの構築活動などを行っています。

① 災害発生時における被災者・被災地支援活動

-01. 災害ボランティアセンター運営支援業務（支援者派遣）

依頼者 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）

内 容 中央共同募金会が設置する「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」からの要請を受け、台風19号災害における災害ボランティアセンター運営支援活動の後方支援活動を展開

・2019年10月19日～12月10日までのうち、32日間

-02. 北海道胆振東部地震被災者支援事業

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 2018年09月06日に発生した、北海道胆振東部地震の被害により影響を受けた住民に対する支援活動に関し、下記の支援活動を展開

①情報発信事業（情報提供媒体の運営管理） 【自主事業】

1) 北海道災害・情報共有グループページの運営管理

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

内 容 北海道内の被災地支援活動及び防災活動に関する情報をfacebookを用いて発信

※当法人が実施する情報発信事業に対し、一般社団法人情報支援レスキュー隊（IT-DART）よりパソコンの無償提供を受ける

※当法人が実施する上記の情報発信事業に対し、2019年度よりサイボウズ株式会社が行う災害支援プログラムと連携を開始

詳細は、右のQRコードからご覧ください



災害支援
サイボウズ

②むかわ町復興支援ネットワーク会議への参画 【自主事業】

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

場 所 むかわ町（鶴川・穂別）

内 容 むかわ町役場、むかわ町社会福祉協議会と当法人において、被災者の生活実態把握と継続した支援活動の展開を目指した「むかわ町復興支援ネットワーク」を2019年04月に発足。当法人は町内全戸訪問活動及び訪問で明らかとなった住宅課題を抱える被災者への支援を担う。

実 績

1) ネットワーク会議

・2019年04月04日 ・2019年04月09日 ・2019年05月23日

- ・ 2019 年 06 月 20 日 ・ 2019 年 07 月 25 日 ・ 2019 年 08 月 28 日
- ・ 2019 年 09 月 27 日 ・ 2019 年 10 月 24 日 ・ 2019 年 11 月 15 日
- ・ 2019 年 12 月 20 日 ・ 2020 年 01 月 22 日 ・ 2020 年 03 月 26 日

※2019 年 11 月 01 日町長との意見交換

2) 町内全戸訪問活動

穂別地区

2019 年 04 月	活動日数	04 日	参加ボランティア	39 名
2019 年 05 月	活動日数	05 日	参加ボランティア	49 名
2019 年 06 月	活動日数	04 日	参加ボランティア	34 名
穂別地区計	活動日数	14 日	参加ボランティア	139 名

(※2019 年 3 月実施分含む)

鷗川地区

2019 年 07 月	活動日数	06 日	参加ボランティア	62 名
2019 年 08 月	活動日数	07 日	参加ボランティア	138 名
2019 年 09 月	活動日数	08 日	参加ボランティア	111 名
2019 年 10 月	活動日数	07 日	参加ボランティア	55 名
2019 年 11 月	活動日数	02 日	参加ボランティア	15 名
鷗川地区計	活動日数	30 日	参加ボランティア	381 名
全体合計	活動日数	44 日	参加ボランティア	520 名

(※2019 年 3 月実施分含む)

協 力 本事業に対し、以下の機関より活動資金の提供を受ける

- ・ 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ・北海道) 1,990,000 円
- ・ 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド北海道「いぶり基金」1,000,000 円

③北海道足湯隊の結成及び活動運営に関する取り組み 【自主事業】

期 間 2019 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日

場 所 厚真町、安平町、むかわ町、苫小牧市

内 容 足湯ボランティアを通じ心身ケアや新たなコミュニティの場づくりを行う支援活動を展開。当法人は北海道足湯隊の結成及び活動運営に関する事務局を担い、各団体の活動のサポート及び支援活動を展開

実 績

1) 活動実績

- ・ 活動者延べ 170 名 (累計 455 名)
- ・ 支援対象者延べ 518 名 (累計 868 名)

2) 足湯隊合同ミーティング

- ・ 2019 年 04 月 24 日 ・ 2019 年 05 月 29 日 ・ 2019 年 06 月 27 日
- ・ 2019 年 07 月 26 日 ・ 2019 年 08 月 28 日 ・ 2019 年 09 月 25 日
- ・ 2019 年 10 月 23 日 ・ 2019 年 11 月 19 日 ・ 2019 年 12 月 18 日
- ・ 2020 年 01 月 21 日 ・ 2020 年 02 月 19 日

3) 足湯講習会

- ・2019年05月11日 札幌市中央区 10名
- ・2019年05月18日 むかわ町 10名
- ・2019年06月08日 苫小牧市 3名
- ・2019年06月16日 札幌市中央区 40名
- ・2019年08月18日 苫小牧市 2名
- ・2019年09月26日 登別市 87名
- ・2019年09月26日 登別市 31名
- ・2019年10月12日 苫小牧市 3名
- ・2019年10月15日 歌志内市 18名
- ・2019年11月17日 苫小牧市 2名 (合計 206名)

4) 全国足湯ボランティアフォーラム in 北海道

- ・2019年06月16日 札幌市中央区

協 力 本事業に対し、以下の機関より活動資材の提供を受ける。

- ・赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ・北海道) 1,810,000 円
- ・認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド北海道「いぶり基金」300,000 円
- ・弁護士法人北海道みらい法律事務所さま／鈴木孝子さま／勇新電気計装さま／特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワークさま／社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会さま／高木由美子さま／社会福祉法人更別村社会福祉協議会さま／特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会さま・しずおか茶の国会議さま／一般社団法人おちゃのま SO-縁さま／社会福祉法人栃木市社会福祉協議会さま／特定非営利活動法人 ADRA Japan さま／みんなでワハハさま／株式会社ポーラさま／八戸貴裕さま／その他、匿名企業さま

※詳細は、右の QR コードからご覧ください



④Omoidori Project (被災した住民の思い出の品(写真等)の洗浄・修繕)

【自主事業】

期 間 2019年04月01日～2020年03月31日

場 所 厚真町

内 容 厚真町災害ボランティアセンターとの協働により、倒壊世帯で雨ざらしになったアルバム・写真等の思い出の品を洗浄及びデジタル修復等を行い、被災者の思い出を消滅させない取り組みを実施

協 力 本事業に対し、以下の機関より活動資材の提供を受ける。

- ・認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地支援基金 100,000 円
- ・真備町写真洗浄@あらいぐま岡山さま／富士フィルムイメージングシステム株式会社さま／ヤマト株式会社さま

※詳細は、右の QR コードからご覧ください



⑤情報共有会議の運営支援及び参画 【自主事業】

場 所 厚真町、安平町、むかわ町

内 容 北海道胆振東部地震における被災者支援の拡大を目指し、北海道 NPO サポートセンター及び北の国災害サポートチームが開催する情報共有会議の開催をサポート

・ 2019 年 04 月 11 日 ・ 2019 年 04 月 25 日 ・ 2019 年 05 月 23 日
・ 2019 年 06 月 20 日 ・ 2019 年 07 月 25 日 ・ 2019 年 10 月 31 日
・ 2019 年 12 月 19 日

⑥北海道 NPO サポートセンターとの連携

場 所 札幌市中央区

内 容 同センターが認定 NPO 法人ジャパン・プラットフォームからの支援を受けて実施する「北海道地震支援の連携・調整基盤構築事業」において、中長期的な支援活動の継続と持続可能性を高めるためのコーディネーターとして協力

コーディネーター会議

・ 2019 年 04 月 11 日 ・ 2019 年 04 月 25 日 ・ 2019 年 05 月 16 日
・ 2019 年 05 月 30 日 ・ 2019 年 06 月 13 日 ・ 2019 年 06 月 27 日
・ 2019 年 07 月 04 日 ・ 2019 年 07 月 18 日 ・ 2019 年 08 月 02 日
・ 2019 年 08 月 29 日 ・ 2019 年 09 月 19 日

その他支援調整

・ 2019 年 05 月 12 日 ・ 2019 年 05 月 25 日 ・ 2019 年 06 月 04 日
・ 2019 年 07 月 17 日 ・ 2019 年 07 月 26 日 ・ 2019 年 08 月 14 日
・ 2019 年 08 月 16 日 ・ 2019 年 11 月 29 日 ・ 2019 年 12 月 25 日
・ 2020 年 01 月 28 日 ・ 2020 年 02 月 15 日

⑦胆振東部地震被災地応援ミーティング

依頼者 NPO 法人北海道 NPO サポートセンター

場 所 札幌市中央区

内 容 北海道胆振東部地震の支援について、個別性を重視した丁寧な支援活動と息の長い被災地への応援の形を考えるため、過去の災害支援の現場から学び、今後の支援を考えるミーティングを開催

・ 2019 年 05 月 11 日 支援団体向け
・ 2019 年 05 月 30 日 企業向け

⑧胆振 3 町の民生委員児童委員協議会への支援

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

場 所 厚真町

内 容 胆振 3 町の民生委員児童委員、主任児童委員、事務局職員を対象に、被災住民への支援活動のヒアリングと支援活動のふりかえりを実施

・ 2019 年 05 月 16 日 3 町の協議会会長を対象にしたヒアリング
・ 2019 年 10 月 25 日 支援活動のふりかえり（グループワーク）

⑨北海道胆振東部地震災害ボランティア活動振り返り会への協力

依頼者 北海道社会福祉協議会 北海道災害ボランティアセンター 様
実施日 2019 年 06 月 28 日
場 所 厚真町
内 容 各地域における災害ボランティア活動の体制づくりを考えるグループワークにおいて、三者連携の意義・目的について報告

⑩北海道生活協同組合連合会との連携

場 所 厚真町、安平町、むかわ町
内 容 同会及び日本生活協同組合連合会における被災地支援活動に対する助言や協働した被災者支援活動を展開
・2019 年 09 月 12 日 岐阜県生協連視察受け入れ協力

-03. 平成 30 年 7 月豪雨災害被災者支援事業

①被災者見守り・相談支援事業に係る市町村支援業務（再掲）

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会
内 容 岡山県くらし復興サポートセンターが実施する、被災者見守り・相談支援事業実施センター、被災者生活支援従事者研修に関するアドバイザー業務を展開
場 所 岡山県岡山市
・2020 年 01 月 24 日 ・2020 年 03 月 03 日～07 日
・2020 年 03 月 27 日

②平成 30 年 7 月豪雨災害 災害支援検証会議

依頼者 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会
実施日 2020 年 03 月 07 日
場 所 岡山県倉敷市
内 容 倉敷市社会福祉協議会が設置した災害ボランティアセンターの検証を行うための会議において、座長を担う予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となる

② 平時における被災者・被災地支援活動の構築に関する活動

-01. 「第 4 回災害時の連携を考える全国フォーラム」への参加と運営協力

主催者 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
実施日 2019 年 05 月 21 日～22 日
場 所 東京都墨田区
内 容 「災害支援の文化を創造する」をテーマに開催された全国フォーラムにおいて、分科会『三者連携は、どこまで進んだか～何ができ、何ができいていないか～』に登壇し、北海道胆振東部地震での支援活動について、むかわ町における三者連携の現状について報告

-02. 「北の国災害サポートチーム」への参加と運営協力

実施日 2019年10月01日～2020年03月31日

内 容 北海道胆振東部地震の支援活動を機に、北海道内における被災地支援活動と平時における防災活動に向けた三者（行政・社協・NPO）連携の仕組み構築を目的とした組織を発足させ、当法人も参画。当法人篠原理事長が同団体の代表を務めることとなった。

①発足会見（メディアに対する発表）

・2020年02月27日

②幹事会（同団体運営団体との会議）

・2019年10月11日 ・2019年11月14日 ・2019年12月04日
・2020年01月17日 ・2020年02月13日 ・2020年03月09日
・2020年03月13日

③アーカイブ作成（情報共有会議の検証会議）

・2019年11月27日 ・2019年12月17日 ・2020年01月17日
・2020年01月29日 ・2020年02月18日 ・2020年03月13日
・2020年03月17日

④後志地区災害ボランティア組織連絡会議（再掲）

・2019年11月28日

⑤その他の業務

・2020年03月25日 ・2020年03月30日

③ 他団体との協働・ネットワークの構築に関する活動

-01. 「コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do」との協働

同団体（栗原 英文 代表）では当法人篠原理事長が主任研究員を務めており、各種事業において協働の取り組みを展開

・2019年05月09日～11日 北海道合宿

-02. 「一般社団法人日本色彩療法士協会」との協働（再掲）

同団体（外崎 由香 代表）では当法人篠原理事長が上級認定講師を務めており、各種事業において協働の取り組みを展開

・2020年03月29日 上級研修

-03. 「福祉防災サポートオフィス未来」との協働（再掲）

同団体（栗原 英文 代表）では当法人篠原理事長がディレクターを務めており、各種事業において協働の取り組みを展開

1）大阪府災害時福祉支援チーム研修

・2019年10月10日 ・2019年11月08日 ・2019年12月03日

2) 滋賀県災害時福祉支援チーム研修

- ・ 2020 年 02 月 28 日（南会場） ・ 2020 年 02 月 29 日（北会場）

※両日ともに新型コロナウイルスの影響により中止

3) 「災害派遣福祉チーム員養成テキスト」の執筆

-04. 「B-camp-Lab（防災キャンプ研究所）」との協働

同団体（高村 秀史 代表）は当法人において防災キャンプデザイナーとして協働の取り組みを展開。

- ・ 2019 年 05 月 25 日～26 日 Field Style における防災啓発（愛知県長久手市）
- ・ 2019 年 08 月 06 日 防災キャンプ（愛知県名古屋市）
- ・ 2019 年 09 月 28 日 株式会社パーソンズ社員研修（愛知県名古屋市）
- ・ 2019 年 10 月 13 日 備える！中日サバイバルキャンプ（愛知県名古屋市）
- ・ 2019 年 11 月 16 日 防災キャンプ（愛知県名古屋市）
- ・ 2019 年 12 月 07 日～08 日 Field Style における防災啓発（愛知県常滑市）
- ・ 2019 年 12 月 12 日 防災キャンプ（愛知県高浜市）
- ・ 2020 年 02 月 01 日 南知多町地域防災リーダー養成講座（愛知県美浜町）

8) 法人運営事業

当法人の運営に必要な活動などを行っています。

-01. 年次総会

- ・ 2019 年 05 月 31 日

-02. 理事会

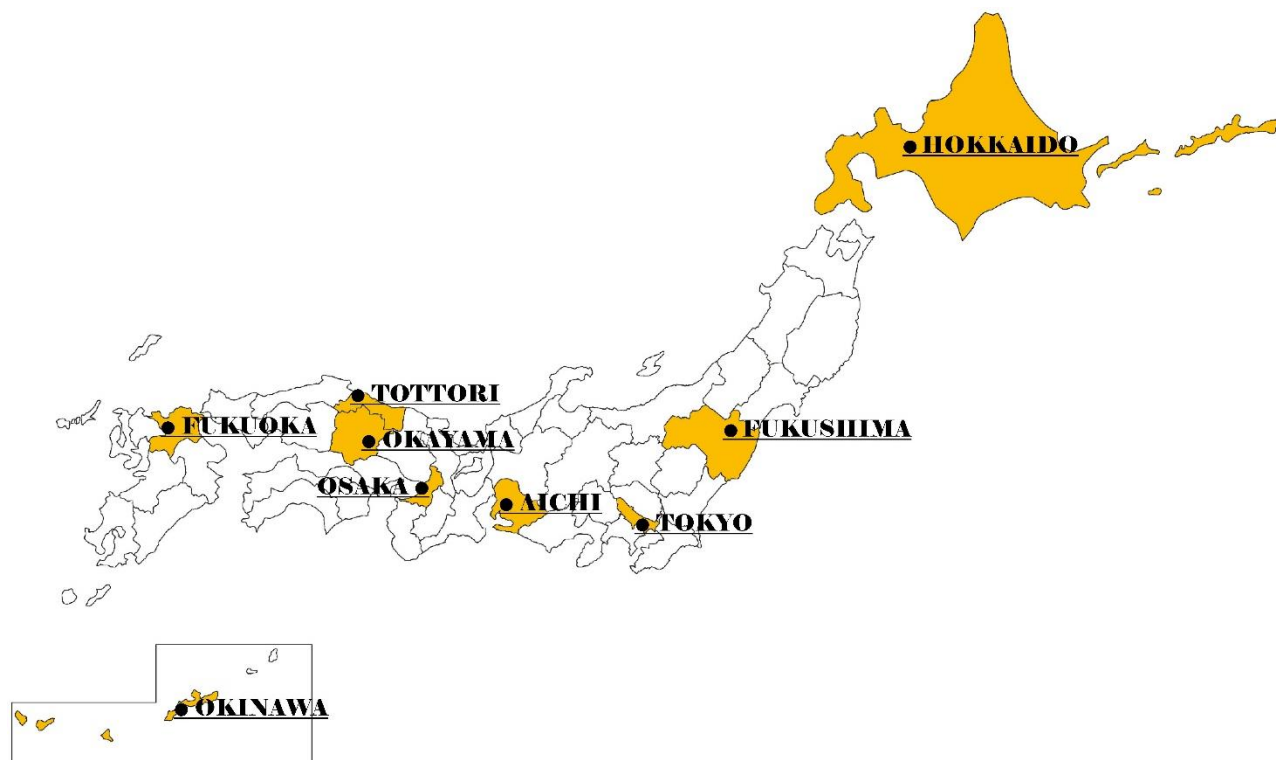
- ・ 2019 年 05 月 31 日 ・ 2019 年 07 月 25 日 ・ 2019 年 09 月 28 日
- ・ 2019 年 10 月 13 日 ・ 2019 年 11 月 20 日 ・ 2020 年 02 月 15 日
- ・ 2020 年 03 月 14 日

-03. スタッフミーティング

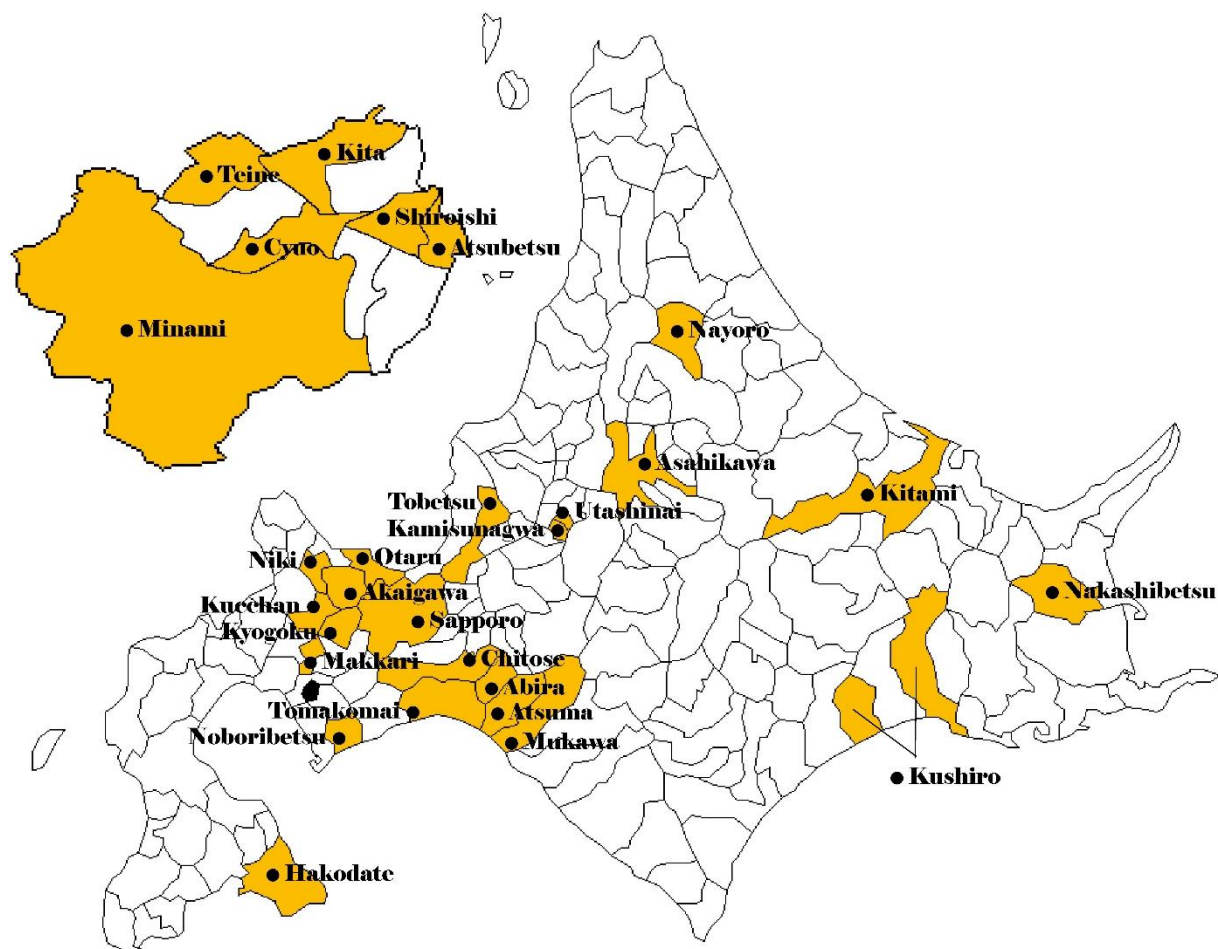
- ・ 2019 年 04 月 24 日 ・ 2019 年 06 月 23 日 ・ 2019 年 08 月 25 日
- ・ 2019 年 10 月 25 日 ・ 2019 年 11 月 20 日 ・ 2019 年 12 月 27 日
- ・ 2020 年 01 月 16 日 ・ 2020 年 02 月 27 日

3. あしあと

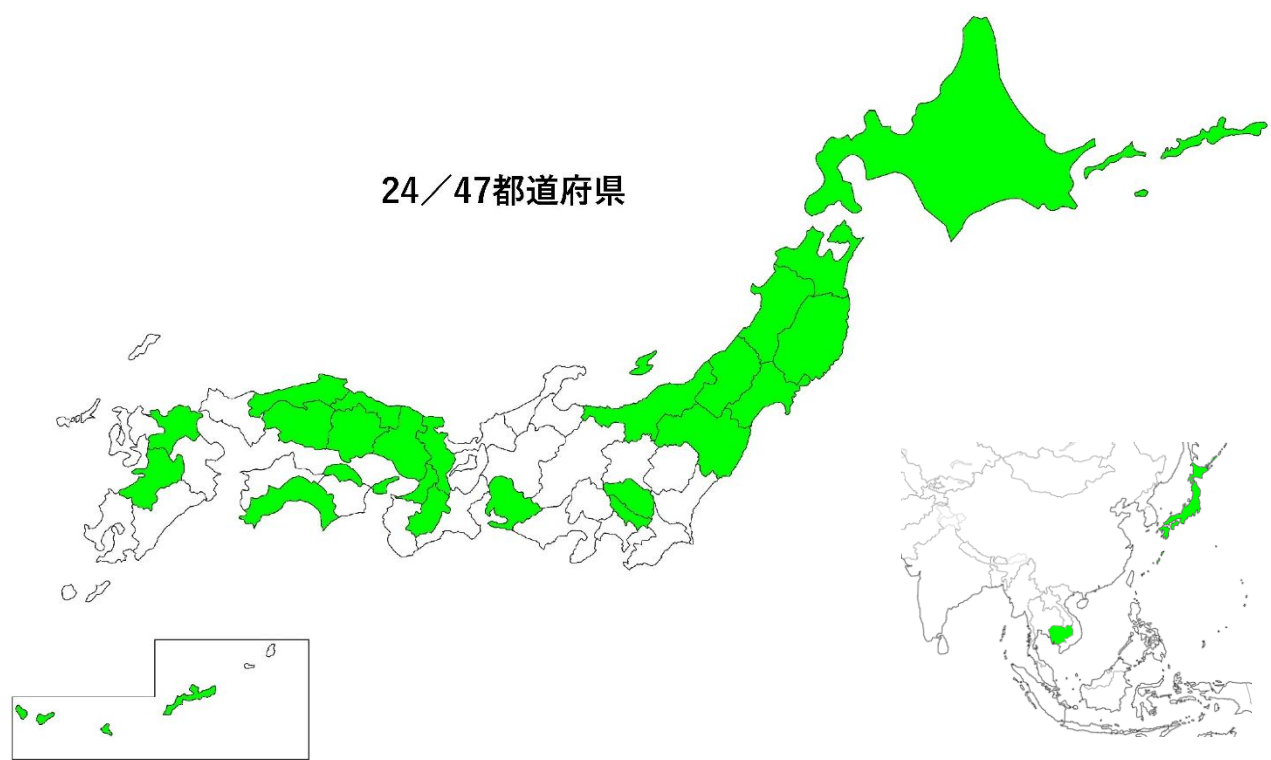
凡例：■ 2019 年度に訪れた地域（都道府県域）



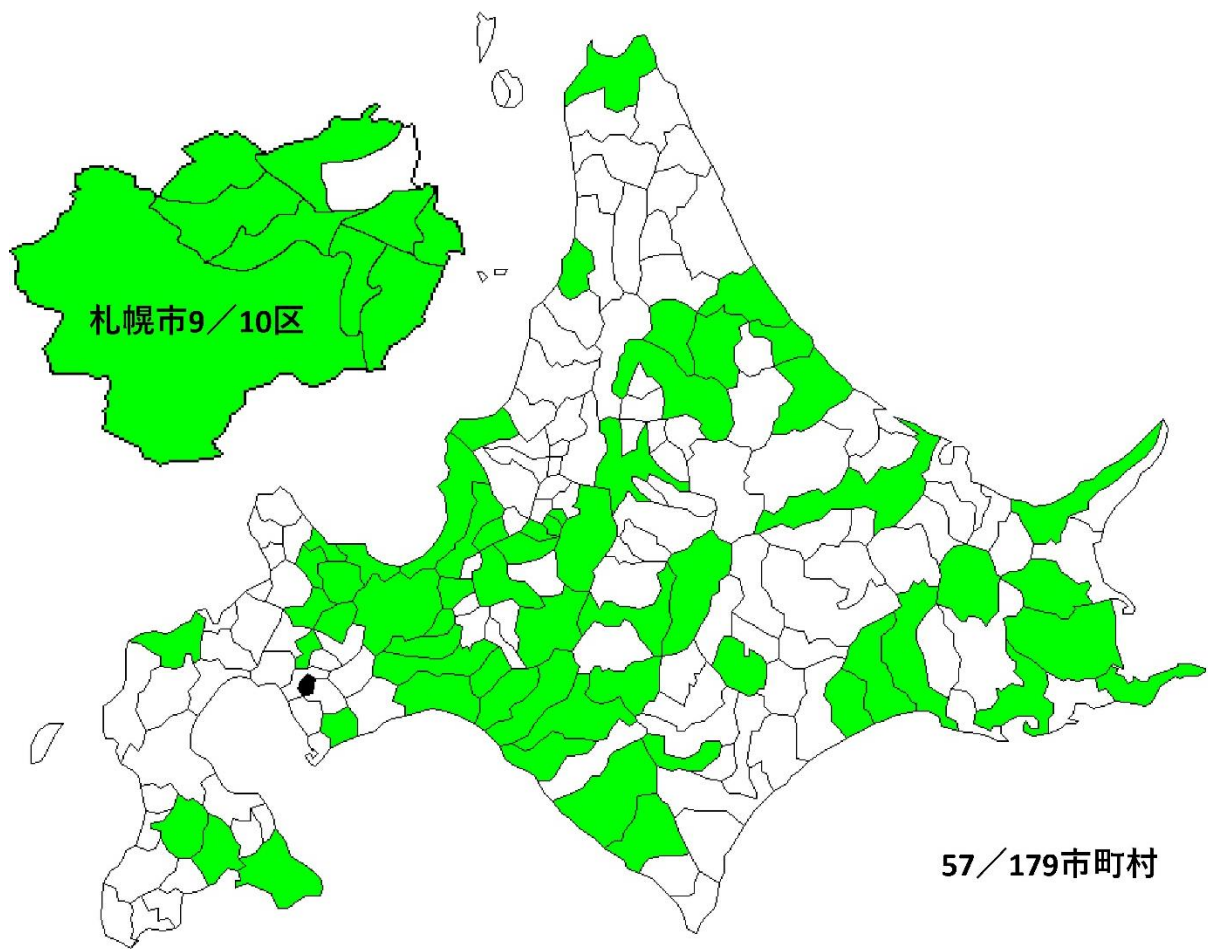
凡例：■ 2019 年度に訪れた地域（北海道内市区町村域）



凡例：■法人設立以降（2012～）に訪れた地域（都道府県域）



凡例：■法人設立以降（2012～）に訪れた地域（北海道内市区町村域）



4. 収支決算

2020 年 3 月 31 日 現在 (単位: 円)

非営利活動に係る事業会計貸借対照表

資産の部		負債・正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,356,845
現 金	651,392	預 り 金	291,824
普通 預金	21,979,542	流動負債 計	1,648,669
普通預金(ゆうちょ)	4,848	負債の部合計	1,648,669
貯蓄用口座	2,000,057	正味財産の部	
北海道足湯隊 口座(北洋銀行)	2,661,011	【代替基金】	
現金・預金 計	27,296,850	代替基金	2,000,000
(売上債権)		【代替基金】 合計	2,000,000
未 収 金	3,466,340	【正味財産】	
売上債権 計	3,466,340	正味 財産	27,321,983
(その他流動資産)		(うち当期正味財産増加額)	3,762,469
前払 費用	33,048	正味財産 計	27,321,983
立 替 金	17,004	正味財産の部合計	29,321,983
その他流動資産 計	50,052		
流動資産合計	30,813,242		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
車両運搬具	137,470		
有形固定資産 計	137,470		
(投資その他の資産)			
リサイクル預託金	19,940		
投資その他の資産 計	19,940		
固定資産合計	157,410		
資産の部合計	30,970,652	負債・正味財産の部合計	30,970,652

非営利活動に係る財産目録

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金 651,392

普通 預金 21,979,542

普通預金(ゆうちょ) 4,848

貯蓄用口座 2,000,057

北海道足湯隊 口座(北洋銀行) 2,661,011

現金・預金 計 27,296,850

(売上債権)

未 収 金 3,466,340

売上債権 計 3,466,340

(その他流動資産)

前払 費用 33,048

立 替 金	17,004	
その他流動資産 計	50,052	
流動資産合計		30,813,242
【固定資産】		
(有形固定資産)		
車両運搬具	137,470	
有形固定資産 計	137,470	
(投資その他の資産)		
リサイクル預託金	19,940	
投資その他の資産 計	19,940	
固定資産合計		157,410
資産の部 合計		30,970,652
《負債の部》		
【流動負債】		
未 払 金	1,356,845	
預 り 金	291,824	
流動負債 計		1,648,669
負債の部 合計		1,648,669
正味財産		29,321,983

5. わたしたちの取り組み

1. Mission 【社会的使命】

Wellbe Design は、社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とし、次の事業を行います。

- (1) 社会福祉に関する相談・支援事業
- (2) 社会福祉に関する事業の企画・運営事業
- (3) 社会福祉に関する情報の収集・提供事業
- (4) 社会福祉に関する調査・研究事業
- (5) 社会福祉に関する出版・編集事業
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

2. Vision 【活動理念】

WellbeDesign は、「地域研究」・「地域開発」・「人材育成」の包括的プロジェクトにより、地域福祉活動の担い手を支えられるチカラになります。この理念に基づき、各種機関・団体との連携により、法人の使命を果たす取り組みを行っています。

3. Value 【社会的価値】

WellbeDesign は、“ひとづくり”と“地域づくり”のデザイナーとして存在し、Well-being (福祉、幸福、健康) と、Design (デザイン) をあわせた造語「**Wellbe Design** (ウェルビー・デザイン)」を法人名称としました。

4. Logotype 【ロゴに込めた想い】

ハニカム構造の各頂点から対角線を記したデザインは、地域の様々な資源の連携による強固な地域を意味し、右に飛び出た正三角形は社会への参画や組織から生まれ出る成果を表しています。



6. 定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人 Wellbe Design と称し、略称を WD とする。

(主たる事務所)

第2条 当法人は、主たる事務所を札幌市厚別区に置く。

2 当法人は、社員総会の決議により、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とし、次の事業を行う。

- (1) 社会福祉に関する相談・支援事業
- (2) 社会福祉に関する事業の企画・運営事業
- (3) 社会福祉に関する情報の収集・提供事業
- (4) 社会福祉に関する調査・研究事業
- (5) 社会福祉に関する出版・編集事業
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(公告)

第4条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、当法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第2章 社 員

(入社)

第5条 当法人の目的に賛同し、入社した者を社員とする。

2 社員となるには当法人所定の様式による申込みをし、理事長の承認を得るものとする。

(経費等の負担)

第6条 社員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2 社員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(社員の資格喪失)

第7条 社員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退社したとき。
- (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。
- (4) 6か月以上会費を滞納したとき。
- (5) 除名されたとき。
- (6) 総社員の同意があったとき。

(退社)

第8条 社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前に当法人に対して予告をする

ものとする。

(除名)

第9条 当法人の社員が、当法人の名誉を毀損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、一般社団及び一般財団法人に関する法律(以下「一般法人法」という。)第49条第2項に定める社員総会の特別決議によりその社員を除名することができる。

(社員名簿)

第10条 当法人は、社員の氏名又は名称及び住所を記載した社員名簿を作成する。

第3章 社員総会

(社員総会)

第11条 当法人の社員総会は、定時社員総会及び臨時社員総会とし、定時社員総会は、毎事業年度の終了後3か月以内に開催し、臨時社員総会は、必要に応じて開催する。

(開催地)

第12条 社員総会は、主たる事務所の所在地において開催する。

(招集)

第13条 社員総会の招集は、理事が過半数をもって決定し、理事長が招集する。

2 社員総会の招集通知は、会日より5日前までに各社員に対して発する。

(決議の方法)

第14条 社員総会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の議決権の過半数をもってこれを行う。

(議決権)

第15条 各社員は、各1個の議決権を有する。

(議長)

第16条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。理事長に事故があるときは、当該社員総会で議長を選出する。

(議事録)

第17条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

第4章 理 事

(理事の設置)

第18条 当法人に、理事2名以上を置く。

2 理事のうち、代表理事1名を定め、代表理事をもって理事長とする。

3 理事のうちから、副理事長、専務理事及び常務理事各若干名を定めることができる。

(選任等)

第19条 理事は、社員総会の決議によって社員の中から選任する。ただし、必要があるときは、社員以外の者から選任することを妨げない。

2 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事は、理事の互選によって定める。

3 理事のうち、理事のいずれかの1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。

(任期)

第20条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

3 理事は、辞任又は任期満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(理事の職務権限)

第21条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2 理事は、当法人の業務を執行する。

(理事の報酬等)

第22条 役員の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受ける財産上の利益は、社員総会の決議をもって定める。

(取引の制限)

第23条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合には、社員総会において、その取引について重要な事実を開示し、その承認を受けなければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除)

第24条 当法人は、役員の一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、社員総会の特別決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

第5章 基 金

(基金の拠出)

第25条 当法人は、社員又は第三者に対し、一般法人法第131条に規定する基金の拠出を求めることができるものとする。

(基金の募集)

第26条 基金の募集、割当て及び払込み等の手続については、理事が決定するものとする。

(基金の拠出者の権利)

第27条 拠出された基金は、基金拠出者と合意した期日までは返還しない。

(基金の返還の手続)

第28条 基金の拠出者に対する返還は、返還する基金の総額について定時社員総会における決議を経た後、理事が決定したところに従って行う。

第6章 計 算

(事業年度)

第29条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月末日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第30条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(剰余金の分配の禁止)

第31条 当法人は、剰余金を分配することができない。

(残余財産の帰属)

第32条 当法人が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第7章 附 則

(最初の事業年度)

第33条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から平成25年3月末日までとする。

(設立時社員の氏名ほか)

第34条 設立時社員の氏名又は名称及び住所並びに設立に際して割り当てを受ける基金の額は、次のとおりである。

篠原 辰二

札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

金100万円

佐藤 大介

札幌市白石区栄通13丁目1番34-105号

金100万円

(設立時の理事及び代表理事)

第35条 当法人の設立時役員は、次のとおりである。

設立時理事 篠原 辰二、佐藤 大介

設立時代表理事 篠原 辰二

(法令の準拠)

第36条 本定款に定めのない事項は、すべて一般社団法人及び一般財団法人に関する法律その他の法令に従う。

7. 役職員紹介 Staff

篠原辰二（しのはら・しんじ：理事長：社会福祉士）

北海道内2つの市町で社会福祉協議会職員として14年勤務。地域特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業の経験を踏まえ、地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開している。社会福祉士。防災士。1976年生れ。道都大学社会福祉学部卒、北海道伊達市出身。

岡部和夫（おかべ・かずお：副理事長）

34年間の北海道社会福祉協議会を経て、道内2大学において社会福祉教育（地域福祉）に10年携わる。社会福祉協議会活動を始め、民生委員児童委員活動、住民組織活動等の実践と研究に努める。2009年に発刊された「社協再生—社会福祉協議会の現状分析と新たな活路」（中央法規）では第2章を執筆。1941年生れ。東北福祉大学社会福祉学部卒。北海道洞爺湖町出身。

佐藤大介（さとう・だいすけ：常務理事：社会福祉士・精神保健福祉士）

市社会福祉協議会と福祉系大学での勤務経験を持ち、地域福祉・災害ソーシャルワーク・住民主体による小地域福祉活動の実証的研究、福祉教育に関する研究を行っている。日本福祉大学全学教育センター助教。社会福祉士、精神保健福祉士。北星学園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。1980年生まれ。北海道函館市出身。

篠原三恵子（しのはら・みえこ：総務課長）

法人設立時より研究者及び研究機関からの依頼により、インタビュー調査の文字起こしやデータ入力および集計などの調査研究補助業務を担う。また、法人の経理及び庶務を取り扱う勤続8年目を迎えた職員。

佐藤結希（さとう・ゆき：コミュニティデザイナー：社会福祉士・介護支援専門員）

社会福祉協議会での勤務経験を経て2017年9月に当法人正職員第一号として入社。社会福祉士と介護支援専門員の両視点から、地域福祉と地域包括ケアを融合させた取り組みを展開している。

本田綾子（ほんだ・あやこ：復興支援コーディネーター）

医療現場で相談援助職として勤務した経験を経て2019年8月に当法人に入社。フットワークの軽さと学生時代から培った災害支援の経験を踏まえ、北海道胆振東部地震の支援を担当している。

ゴンタ（ごんた：課長）

動物保護活動を行うNPO法人に所属していたところ、縁あって理事長夫婦に養子に迎えられた。大きな体、大きな声、長いしっぽが特徴で、初めて会う人には必ず「でかい」と言われる。2006年生まれ（推定）。北海道苫小牧市出身。

※ 役員及び常勤職員のみ掲載しております。このスタッフの他、業務提携するスタッフを含め、総勢12名で各種の業務を行っております。

お世話になりました

夕張市で野良犬生活を送っていたところを元飼主に保護され

その後、縁あって理事長夫婦に養子に迎えられ

2013年10月28日に入社したジャックラッセルテリアのチビタ

当法人ではゴンタ課長の部下として主に広報を担当していましたが

2019年5月28日に自宅で急逝いたしました

生前は近隣の皆さまや事務所にお越しいただいた皆様

更には、facebook等を通じ、多くの皆様にかわいがっていただきました

心より感謝申し上げます



チビタ（ちびた：部長）

享年 11 歳（推定）

8. ご支援（会員登録）のお願い Support

当法人の活動にご賛同いただける会員を募集しております。

会員の皆様には当法人が行う各種事業の詳細について情報提供を行うほか

当法人が主催する研修会の参加費に会員割引が適用されます。

会員（個人・団体）会費 一口 10,000 円／年額

これからも **Wellbe Design** をよろしくお願いいたします。

一般社団法人 Wellbe Design 会員規程

(目 的)

第1条 この規程は一般社団法人 Wellbe Design（以下、「当法人」という）定款第5条に定める社員と区別し、当法人の目的に賛同し、賛助の意志を持つ個人及び団体について必要な事項を定める。

(定 義)

第2条 この規程で定める会員とは、次の2種とする。

- (1) 個人会員 当法人の目的に賛同し、賛助の意思を持つ個人
- (2) 団体会員 当法人の目的に賛同し、賛助の意思を持つ団体（法人格の有無を問わない）

(入 会)

第3条 当法人の会員になろうとするものは、所定の入会届に必要事項を記入して理事長に提出し、理事会の議決による承認を得るものとする。

(会 費)

第4条 会員は以下の会費を納入しなければならない。

- (1) 個人会員 10,000円／年
- (2) 団体会員 10,000円／年

2 前号で定める会費は入会時から当該年度末を期限とする。

(権 利)

第5条 会員は当法人が主催または対応した各種事業に関する情報を得ることができる。

2 前号で定める事項について、個人情報や著作等における保護が必要と認められる場合は、当法人により制限を設ける場合がある。

(資格の喪失)

第6条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき
- (3) 正当な理由なく会費を滞納し、督促をうけても1年以上納入しないとき
- (4) その他の事情により理事会において会員の資格の喪失が必要と判断したとき。ただし、その会員に対し、資格喪失の事由を明らかにし、必要に応じて弁明の機会を与える。

(退 会)

第7条 会員はいつでも理事長に退会届を提出して退会することができる。

2 年度途中に退会となった場合、既納の会費は返還しない。

(細 則)

第8条 この規程の変更または施行に関し必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附 則

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(会員規程 様式1号)

入 会 届

一般社団法人 **Wellbe Design** 理事長 宛

会員規程に基づき、以下のとおり入会を希望します。

会 員 種 別	☐ 個人会員 ☐ 団体会員	申 込 日	年 月 日
お 名 前	(カ)		
または 団 体 名	印		
(団体の場合)	(カ)		
代表者 職 氏 名	印		
【A】 住 所 等 連 絡 先	※個人の場合は自宅住所を記入 〒 電 話 F A X E メール		
【B】 (個人の場合) 勤務先名称 連 絡 先	〒 電 話 F A X E メール		
生 年 月 日 (設立年月日)	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦 年 月 日	送 付 物 の 郵 送 先	☐ 送付先【A】 ☐ 個人宅【B】
入会の理由 または メッセージ			
法人記載欄	☐ 申込書受理日 年 月 日 ☐ 入会承認日 年 月 日 ☐ 初年度会費納入日 年 月 日	【付記】	

9. 事務所在地 Office

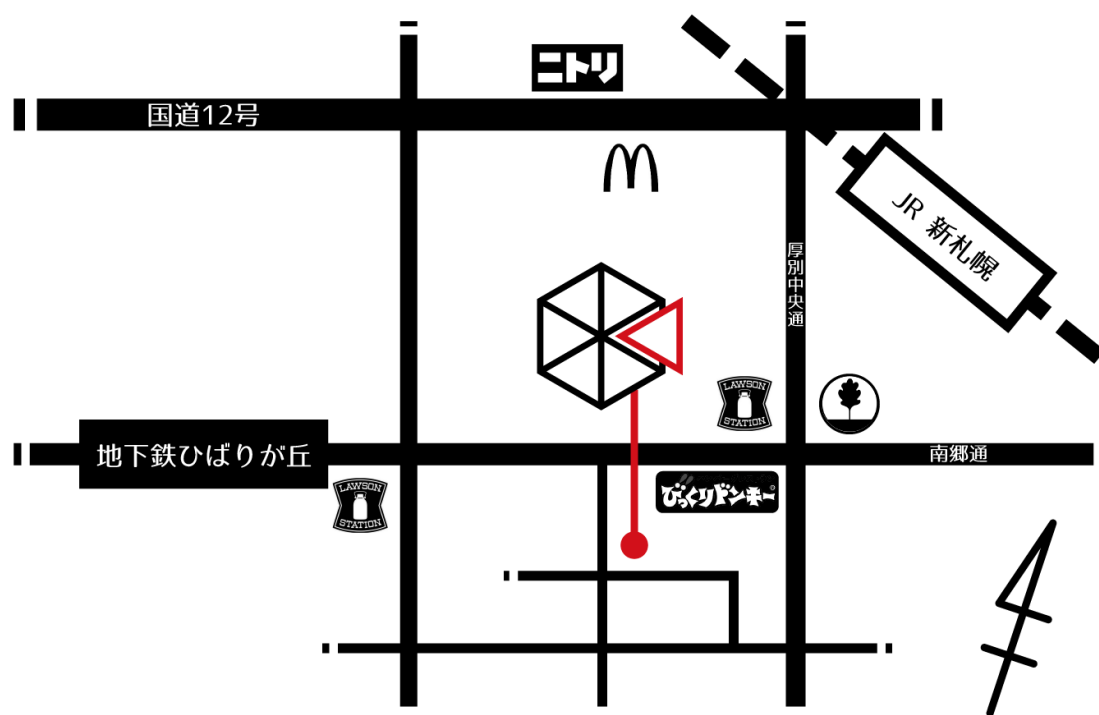
〒004-0022 北海道札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

電話 011-801-7450 FAX 011-801-7451

URL <http://www.wellbedesign.jp> E-mail info@wellbedesign.jp

営業時間 平日 10:00~17:00 (年末年始休業 12月31日~1月5日)

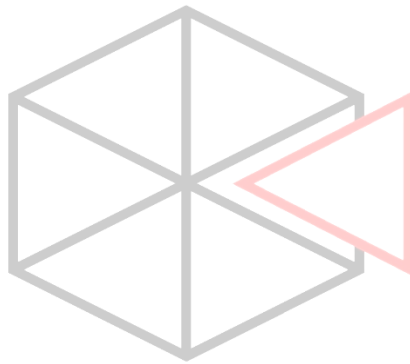
事務所在地・MAP



地下鉄：東西線ひばりが丘駅3番出口 徒歩3分

J R：新札幌駅 徒歩15分

お 車：札幌南ICから5分



Wellbe Design